

第2回境港市みんなでまちづくり推進会議録

日時：平成29年8月8日(火) 18:30～20:15

場所：市民活動センター

日程

1. 開会
2. 平成29年度境港市市民活動推進補助金の審査（一部非公開）
3. 今年度の取組テーマ「若い世代の行政参加」についての協議
4. 閉会

出席者（敬称略）

石橋文夫 植田建造 遠藤恵子 梶川恵美子 門脇紀文
佐古 廣 徳尾 勝 松本幸永 渡部敏樹 門脇京子

欠席者（敬称略）

土田良和 佐名木歩実

<開会>

（会長）

皆さん、こんばんは。お疲れのところ、お集まりいただき、ありがとうございます。

早速ではありますが、平成29年度第2回目のみんなでまちづくり推進会議を開催いたします。

本日は、ご案内させていただいたように、先に市民活動推進補助金の審査をして、その後、今年度の取組テーマについて協議したいと思います。

それでは、市民活動推進補助金審査について、事務局より説明をお願いします。

（事務局）

本年度、2回目の募集をしましてところ、一般事業に2団体の申請がありました。

審査員の皆様には、事前に書類審査をしていただいております、お忙しい中、ありがとうございました。

事前審査による申請団体の評価点は、別紙のとおりとなりましたので、ご確認ください。

審査表の審査基準を基に、申請書のみでの審査をしていただきましたので、この後行われるプレゼン後に得点修正があればそこで修正していただき、審議をしていただきます。

それでは、本日の審査会の進め方及び審査の視点について説明いたします。

まず初めに、ヒアリングをしていただく審査員を推進委員の中から3名選出し、地域振興課長と合わせて4名でヒアリング審査を行います。推進委員から選出するヒアリング審査員については、あらかじめ松本会長と相談して、決めさせていただきました委員の方に

お願いしたいと思っておりますが、よろしいでしょうか。

※委員異議なし

続きまして、ヒアリング審査の仕方を説明いたします。本日はプレゼンを2つの団体に行ってもらいます。1団体15分で、まず最初の3分間で申請団体から申請概要説明をしていただきます。その後、残りの12分間でヒアリング審査員の方に質疑をしていただきます。その間ですが、ヒアリング審査員以外の方には、傍聴をしていただきますようお願いいたします。

2団体のプレゼン終了後、19時10分から皆様で審議していただきます。そこで、事前にご記入いただいた審査表の得点とプレゼンを参考にしながら1件ずつ採択・不採択の決定を行っていただきます。各事業とも30点満点で、18点が合格基準点となっておりますので、特に18点に満たない事業につきましては、修正等を加えることで合格基準点を満たすように、条件付きの採択とするなどの審議していただきたいと思っております。

以上で説明は終わりますが、何かご質問等ございますでしょうか。無いようでしたら、審査会を開催いたします。

※委員質問なし

<申請団体によるプレゼンテーションの開始>

◇1団体目 平和のための戦争展境港市実行委員会

- ・申請事業 第4回平和のための戦争展
- ・事業内容 戦争遺品・当時の暮らしで使用した用具・写真・記念品の展示と、講演会を通して、過去の戦争を振り返り、戦争のない平和な世の中で暮らせることの重要性を学び合う。

(委員)

収支計算書の収入の部で、分担金というのがありますけど、これはどういったものでしょうか。

(平和のための戦争展境港市実行委員会)

参加団体からのものです。

(委員)

参加団体というのはどういった団体ですか。

(平和のための戦争展境港市実行委員会)

「平和で暮らし良い境港を作る会」、「米子医療生協境港支部」「年金者組合境港支部」「新

日本婦人の会境港支部」「高齢社会を良くする会 in 境港」「境港九条の会」「民主商工会境港支部」この7団体です。昨年の方でしょうか。今年でしたら、「境港九条の会」までの6団体です。

(委員)

今回9月の終わりの開催ですが、過去の実績を見ると、夏にやると参加者数が多いように思えますが。

(平和のための戦争展境港市実行委員会)

今回、会場（市民会館）がこの時期しか空いてないんです。なので、会場の予定を優先しました。

(委員)

それでは、しっかり宣伝をして、参加者を集めてください。

(委員)

分担金というのは自己負担金にあるわけですが、これは寄付金になりませんか。

(平和のための戦争展境港市実行委員会)

事業の中で、費用から補助金を抜いて、足りないものは自己負担金になりますが、最終的に、それを各団体の分担金で負担するということです。

(委員)

実行委員会は実行委員会であるわけですから、他団体が負担している分担金は寄付金ではないのでしょうか。

それと市民を対象にしていますが、1人の講師の方の講演で本当に市民が公平に勉強できるのだろうかという懸念があります。複数の方の意見を聞いて勉強するのが良いかと思えます。

それから、「ともすれば戦争を美化する風潮が見受けられるこの時代」とありますが、これは本当にあるのでしょうか。戦争を美化する風潮ってどんなところで起こっているのだろうか。「美化する風潮」というのは、ちょっと大げさな言い方な気がしますので、事業の目的に堂々と書くのはどうかと思いました。

いろいろ言いましたが、どういうところにアピールするか。一番聴いてほしい年齢層に来てもらわないといけません。

(平和のための戦争展境港市実行委員会)

来られる方は50・60代が多いです。市内の小中学校にチラシは配布していますが、

なかなか来てはいただけません。

(委員)

若い人たちが展示を見て何を思うか、「美化する風潮」とまではいかなくとも、大事なことを感じなくなっているかもしれません。そこに対して、公平に、もっと人が集まるようにアピールしていただきたいと思います。

(委員)

大事な事業だと思います。費用の中では、ほとんど講演が占めていますね。

(平和のための戦争展境港市実行委員会)

以前よりは抑えています、今回の費用の中ではそうですね。

(委員)

ほかの方の意見でもありましたけども、若い方に足を運んでいただく、その工夫を考えていただきたいと思います。

(平和のための戦争展境港市実行委員会)

分かりました。

(地域振興課長)

要綱の中に「政治上の主義を推進し、支持し、又はこれに反対することを目的とする活動を行う団体」は補助対象外団体として挙げられています。確認ですが、これには当たらないということよろしいですね。

(平和のための戦争展境港市実行委員会)

その通りです。

(地域振興課長)

それから、会員数800人とありますが、第2回は284人来ておりますけれども、第3回が163人、今回の目標が300人とあり、会員の方だけでも、まず見ていただくという努力はしておりますか。

(平和のための戦争展境港市実行委員会)

今までチラシを渡して参加を促してきましたが、なかなか来てもらうのが難しく、800人という数にはなりませんけれども、今回、特にそこに力を入れないといけないと思っております。

(地域振興課長)

団体の方々にとっても、大事な市民活動だと思います。まずは足元を固めて、そこから裾野を広げて、会員以外の方にたくさん来てもらうのが大切かと思います。

それから、教育委員会の後援は取っておられますか。

(平和のための戦争展境港市実行委員会)

後援いただいております。

◇2 団体目 カニカニマラソン実行委員会

- ・申請事業 第3回カニカニマラソン大会
- ・事業内容 マラソン大会の開催を通じた市民の健康増進、青少年の健全育成、境港市の地域振興を図ることを目的とし、開催する。

(委員)

経費はたくさんかかっていますが、にぎわいを作っていける事業だと思います。

(委員)

大変な事業だと思います。補助金は20万しか出せませんが、境港の一大イベントにしたいと思っています。

(委員)

境港市で行われるマラソンは他にどういったものがあるのでしょうか。

(カニカニマラソン実行委員会)

有名なのが11月頃に行われます鬼太郎カップ駅伝ですが、これは一般参加がありませんので、一般の方が参加できるマラソン大会はカニカニマラソンだけです。

(委員)

自己負担金のところで、参加費632,000円とありますが、募集人数とその参加費を合計するとこの数字になるのでしょうか。

(カニカニマラソン実行委員会)

そうです。要項にある参加費を単純計算していただければそうなります。

(委員)

参加される市民の割合はどうでしょうか。

(カニカニマラソン実行委員会)

昨年は、市民が40パーセント。60パーセントは市外です。枠の話をさせてもらおうと、親子の部に関しては、ゴールが一遍に重なる関係で増やすことが出来ません。逆に、一般の8kmは距離が長く、重ならないので人数が増えても問題ありません。

(委員)

一般の方が参加できるのが唯一ということで良いことだと思います。冗談で書いたのですが、カニの横歩きのコースのような「お楽しみ」の区間があっても良いかなと思いました。

(カニカニマラソン実行委員会)

パフォーマンスショーというのを設けてまして、昨年はカニの被り物した人に出てもらったりなどしました。

(地域振興課長)

自己負担金の部分ですが、単純計算すると合いませんが、一般の部の中に、参加料が安い中学生の参加費を何パーセントか盛り込んでいるということですか。

(カニカニマラソン実行委員会)

そうです。何割にしたかは、ぱっと出てきませんが。

(地域振興課長)

全体での募集人数はマックスで計算しているということですね。それから、今年の参加者のうち、市民が40パーセントということでしたが、市民枠というのはありますか。

(カニカニマラソン実行委員会)

特に設けておりません。

(地域振興課長)

早いもの順ということですね。多少の定員オーバーは可能ですか。

(カニカニマラソン実行委員会)

昨年の場合、ほぼ定員で、部によって、1人・2人多かった程度でした。

(地域振興課長)

市民の方が申し込んで、枠がいっぱいで断られたということはないですか。

(カニカニマラソン実行委員会)

近年はありませんが、第1回では、申込みが遅く、お断りしたことがあります。

(地域振興課長)

備品（コーン）についてですが、要綱に「補助対象経費に直接必要な備品購入費」とありますので、この大会のために使う備品ということになります。年に1回の大会ですので、保管先の担保は取れていますか。また、この大会は継続していくということが前提の備品購入になるかと思いますが、間違いありませんか。

(カニカニマラソン実行委員会)

現時点で、保管先は決まっておりますが、今後も大会は継続していきます。

<プレゼンテーション終了>

(会長)

それでは審議に入りたいと思います。みなさんプレゼンをお聞きになりまして感じたことなどがあれば発言していただけたらと思います。まずは「平和のための戦争展境港市実行委員会」から意見ををお願いします。

<以下、非公開>

<異論なく、採決>

19:50～審査会終了

(会長)

そのほかございますでしょうか。

(委員)

昨年度の実績報告書を作っていただきありがとうございました。こういう形でまとめてもらえるのは大変助かるのですが、実際に、事務局のほうで、イベントや学校（緑化事業）には行って確認されているのでしょうか。

(事務局)

イベントについては、事務局からも見に行って、実施風景を写真で撮るなどして確認しています。

(委員)

学校も学校ごとに植える花や場所に特色があるので、是非見てください。

(地域振興課長)

申請があった事業については、すべて確認するよう徹底いたします。

(会長)

その他事務局から何かありますか。

(事務局)

ご審議いただきありがとうございました。今回の2団体の採択によりまして、今年度の予算が約65万円まだありますので、10月に第3回の募集を行いたいと考えております。引き続き委員の皆様には、広報を含めて審査等のご協力をお願いいたします。

また、以前、委員さんから広報の仕方についてのご提案をいただいておりますので、7月号市報で本補助金の募集を行うと同時に、平成28年度補助金交付実績(団体名、事業、交付額)も掲載させていただきました。また、昨年の6月から毎月掲載している「市民グループ活動紹介」のコーナーでは、補助金を活用して事業を実施する団体を紹介する場合には、「市民活動推進補助金を活用している」等の表示することになっています。

それでは、事前にお知らせいたしました。申請書等は回収させていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。

(会長)

それでは、審査を終了します。

19:55～審査会終了

(会長)

それでは、今年度の取組テーマ「若い世代の行政参加」について話しあいたいと思いません。

事前に、会議の進め方について、事務局から毎熊アドバイザーに相談して、いろいろとご提案をいただきました。

その中で、毎熊アドバイザーから、2つのポイントを押さえる必要があるとご指導いただきました。1つ目は、今回のテーマで取り組んだ結果の「最終的なかたち」を決めること、2つ目は「それに向けたスケジュール(進め方)」を決めることです。

事務局とも相談して、まず、「最終的なかたち」としては、「若い世代が行政に参加するためには何が必要か、どんな働きかけが必要か」をまとめて、市への「報告」というかた

ちにし、そのためには、若い世代の意見や関連データを分析した上で、直接若い世代と意見交換を行って、最終的にまとめあげる必要があるということから、別紙のスケジュール（案）をたてました。

毎熊アドバイザーにもご相談し、ご協力いただけるとのご回答をいただきましたので、このように進めさせていただけたらと思います。

スケジュール（案）の詳細については、事務局より説明をお願いします。

（事務局）

別紙のスケジュール（案）をご覧ください。

第1回は5月9日に市民活動推進補助金の審査に合わせて、今年度のテーマの確認「若い世代の行政参加について」と題して協議をいたしました。第2回が本日、市民活動推進補助金の審査に合わせて、「若い世代の行政参加について」の会議の進め方の確認ということとさせていただきます。

そのあとに、「第1回まちづくり若者委員会」というのを自治防災課が広聴事業として今年度2回計画しております。20代～40代の方10名程度委員になっていただいて、1回目はテーマを決めて、市長と意見交換をする、2回目はまた別のテーマで、意見交換をするということになっております。第1回が9月4日に開催されるということですので、そこで出た意見をこちらの会でも紹介したいと思います。

第3回を10月に、市民活動推進補助金の申請がありましたら合わせて、開催したいと思います。第3回には、毎熊アドバイザーにもご出席いただいて、若者の意見やデータをまとめた資料をこちらで用意しますので、その資料を元に意見交換をしていただく予定としております。そこでは若い世代が行政参加するには何が必要かというところにポイントを置いて、意見交換をしていただきたいと思います。

第4回までの間に、第2回まちづくり若者委員会・境港市議会議員選挙がありますので、そこで出た意見や若者の投票率等のデータを集めて、資料作成に生かしたいと思います。

第4回を2月に開催する予定です。毎熊アドバイザーにもご参加いただき、島根大学生やまちづくり若者委員会の委員を交えてのワールドカフェができればと考えております。

第5回は3月を予定しておりますが、それまでに委員の皆さまにはまとめあげた資料をお配りして、第5回の会には報告内容の確認をしていただけたらと考えております。そして、3月の下旬には、会長及び副会長から市長へ報告書の提出していただくような流れを考えております。

（地域振興課長）

前回の会で、この2年間の任期の中でやってきたことをまとめた提言書が必要だという意見が出ておりましたが、毎熊アドバイザーにその旨お話ししたところ、「堅苦しくないだろうか、『提言』でなく『報告』という形で良いのではないか」というご意見をいただきました。ですので、報告書という形の中で、テーマに絞った内容の報告と、審査も含めて2

年間協議してきたことを報告書としてまとめあげたらどうかということです。

一方では、広聴事業として、自治防災課が2回委員会を行いますし、今年は市議会選挙があり、市の選管の方もデータを集計しますので、そういった情報を集めて、皆さまに情報提供していただけたらと考えております。

(会長)

「最終的なかたち」及び「スケジュール」については、こういった方向で進めさせていただきたいと思いますが、いかがでしょうか。また、今年度で現委員の任期も終わりますので、取り組みテーマの報告にあわせて、我々が2年間で取り組んできた事も報告してもいいのではないかと思います。いかがでしょうか。

※委員、異議なし

(会長)

それでは、このような方向で進めさせていただきたいと思います。

(委員)

報告書を作るにあたっては、話し合いながらも良いのですが、時間をかけてでも良いので、各委員からの意見・提案というのを書面で集めてはどうでしょうか。

(地域振興課長)

第3回の会では、こういった形の内容にまとめるかを毎熊アドバイザーにご助言いただきながら、詰めていきたいと思っております。ですので、この会までに委員の皆さまには、ご自身のご意見を持っておいてほしいと思っております。そこで集めた意見は事務局でまとめて、随時皆さまにお示ししながら、3月の会では確認という形で皆さまに見ていただきたいと思います。そのときには、委員全員としての意見と合わせて、2年間まちづくりに関わった感想のような、個人の意見があっても報告書として良いかと思っております。

(会長)

では、それぞれ意見や感想を考えておいていただければと思います。その他、事務局からありますでしょうか。

(事務局)

ご報告が遅くなりましたが、平成28年度の参加と協働等の実施状況について、とりまとめましたので、今回お配りさせていただきました。

持ち帰って目を通していただき、「参加と協働」についての評価や、お気づきの点等がございましたら、事務局までご報告いただければと思います。よろしく申し上げます。以上です。

(会長)

それでは本日の会議については、これで終了したいと思います。長時間にわたり、ご審議及びご協議いただき、ありがとうございました。

<閉会>